

●中毒事故への対応とその後の日本生協連の取り組み概要

■被害の拡大防止を最優先し、全力で商品回収に努めました

2008年1月末の「CO・OP手作り餃子」による重大中毒事故判明以降、日本生協連は全国の生協とともに、被害の拡大防止を最優先し、組合員への連絡と商品回収に全力を挙げました。

各生協では、組合員への販売記録などを利用して、訪問、電話、ハガキ送付などで回収を行い、販売数516,948袋(2007年3月1日～2008年1月31日の実績および販売予定)のうち34,350袋(2009年3月時点)を回収。回収した商品は随時、残留農薬の検査を行いました。

■第三者検証委員会を設置し、日本生協連の弱点と課題を明らかにしました

日本生協連では上記の緊急対応と並行し、今回の事態について客観的・専門的な見地から検証し、抜本的対策を確立するため、2月に外部の有識者・専門家などを委員とした「日本生協連・冷凍ギョーザ問題検証委員会」(以下:第三者検証委員会、委員長:吉川 泰弘・東京大学大学院教授)を設置しました。第三者検証委員会は、3ヶ月間に9回の会合を持ち、日本生協連の品質保証体系や事故対応について検証し、4月に中間報告、5月に最終報告を取りまとめ、その内容を記者会見で発表しました。

この中では、日本生協連の事故対応の問題点、従来品質管理の弱点などが指摘されるとともに、食品の安全性確保のため、生協が取り組むべき課題、社会全般で取り組むべき課題についての提言が行われました。

●日本生協連・冷凍ギョーザ問題検証委員会(五十音順 敬称略)

<委員長> 吉川 泰弘 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
 <委員> 石川 祐司 埼玉県生活協同組合連合会会長理事
 今村 知明 奈良県立医科大学健康政策医学講座教授
 入間田 範子 宮城県生活協同組合連合会常務理事
 合瀬 宏毅 日本放送協会(NHK)解説委員室解説委員
 大和田 孝 国際経営システム規格研究所代表
 加地 祥文 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長
 戸部 依子 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 食生活特別委員会委員長

■品質保証再構築計画を策定し、進捗管理のための委員会を設置しました

日本生協連では、第三者検証委員会の提言と並行して行った3つの強化委員会(品質管理対策強化、お問合せ・苦情対応強化、クライシス対応強化)の検討をもとに、「CO・OP商品の品質保証の再構築計画」(以下:再構築計画)を策定し、2008年6月での日本生協連総会にて確認しました。

再構築計画を進めるにあたり会員生協、有識者、お取引先代表による「品質保証体系再構築計画の進捗を検証する委員会」(以下:進捗管理委員会)を2008年9月に設置し、再構築計画の進捗と有効性の検証を行いことにしました。委員会は下記の委員で構成されています。

●進捗管理委員会(五十音順 敬称略)

<委員長> 土屋 敏夫 コープネット事業連合 専務理事
 <委員> 大和田 孝 国際経営システム規格研究所 代表
 門脇 肇 コープきんき事業連合 常務理事
 倉田 秀昭 みやぎ生協 理事 食品の安全推進本部長・経理部長
 小出 薫 明治乳業株式会社 取締役 品質保証部長
 宗 裕二 株式会社日本能率協会コンサルティング 生産マネジメント革新本部本部長
 戸部 依子 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 食生活特別委員会委員長
 和田 義明 キューピー株式会社 執行役員 品質保証本部本部長